

大機関紙發行部数及種類

労働新聞 三二五〇〇〇
出版印刷産業機関紙「時代」八〇〇〇
婦人組合員用「労働新聞」婦人版 三〇〇〇

四 發展の原因

以上の如く評議會の勢力の増大せる原因は二に在る。一は、大衆の要求と離れなかつた莫に存する。抽象的非現実的政策なりと非難せられ、中偏せられざる評議會が、最も現実的であり、最も組合の集中と統一を要求し努力して来るからである。二は、協調を排し、官憲資本家の買収を排し、常に勇敢に大衆の戦闘的要求を代表して来るからである。更に地方的に従来組合運動の無き地方に、燎原の火の如く組織の増大せしむるは、注意すべきことである。

前述せし如く無産大衆の間に政治的要求が高まり、その具體的日常生活の改善としての組合の必要を痛感し、更に組合がより大衆の现实生活の悲惨を改善するに役立つことに依つて、益々大衆の結合を増加せしめることに努つて来たものがある。

更に産業的に注意するならば、出版労働者の組織率の強大なることと、東京に於ける出版労働者の殆ど全部を組織せること、金銭労働者の組織率の多いこと、更に従来殆ど組織を持たなかつた繊維労働者の間に、全国的に未組織労働者の組織が拡大され、高率をもちて居ること、更に

かゝる原因は二に在る。一は、労働者の日常生活が益々悲惨になりつつある事実と、これに對して、組合が眞に労働者の日常生活の改善のために必要と感ずるべからざるものがある。二は、理に解が、金貨及出版の労働者の間に横まりたるのみならず、封建的、野蠻な労働制度の下に苦しめられざる繊維、木材、化学の工場労働者の間に横まりたる結果である。

此の如く考へば、益々全努力を未組織労働者の組織化と、労働組合勢力の集中統一のために傾注し、且北は更に重要な時期に當面してある。(了)

大正十五年一月廿三日

日本労働組合評議會
中央常任委員會